

高水温に強いアサリの収益を最大化する養殖条件を解明

海洋センター

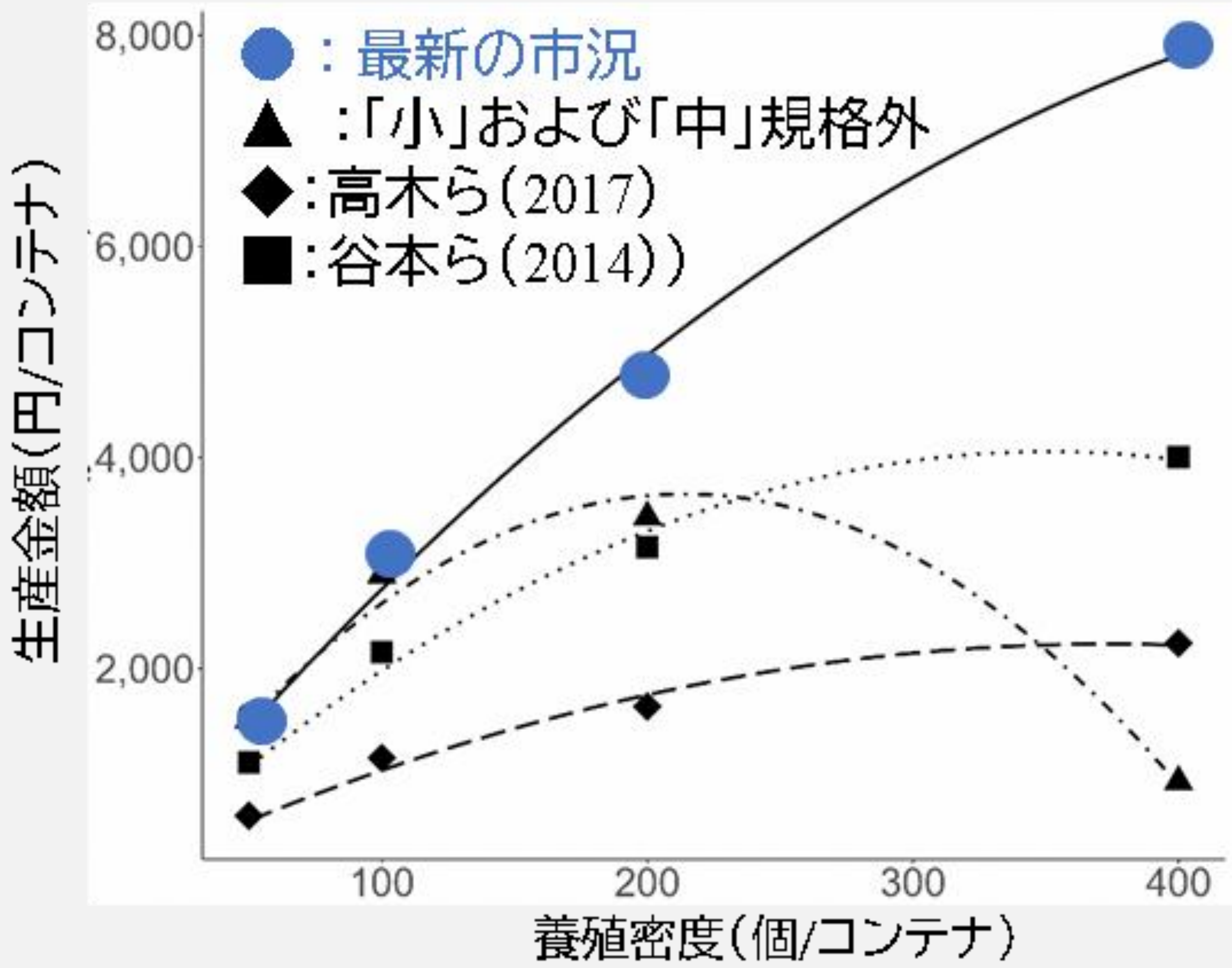
問い合わせ先:海洋センター研究部つくり育てる漁業担当 0772-25-3081

- 主な成果
- コンテナ垂下養殖において**コスト低減方法**と**収益を最大化**するアサリの収容密度が明らかになりました。
 - 本成果を基に「アサリ養殖マニュアル」を作成します。

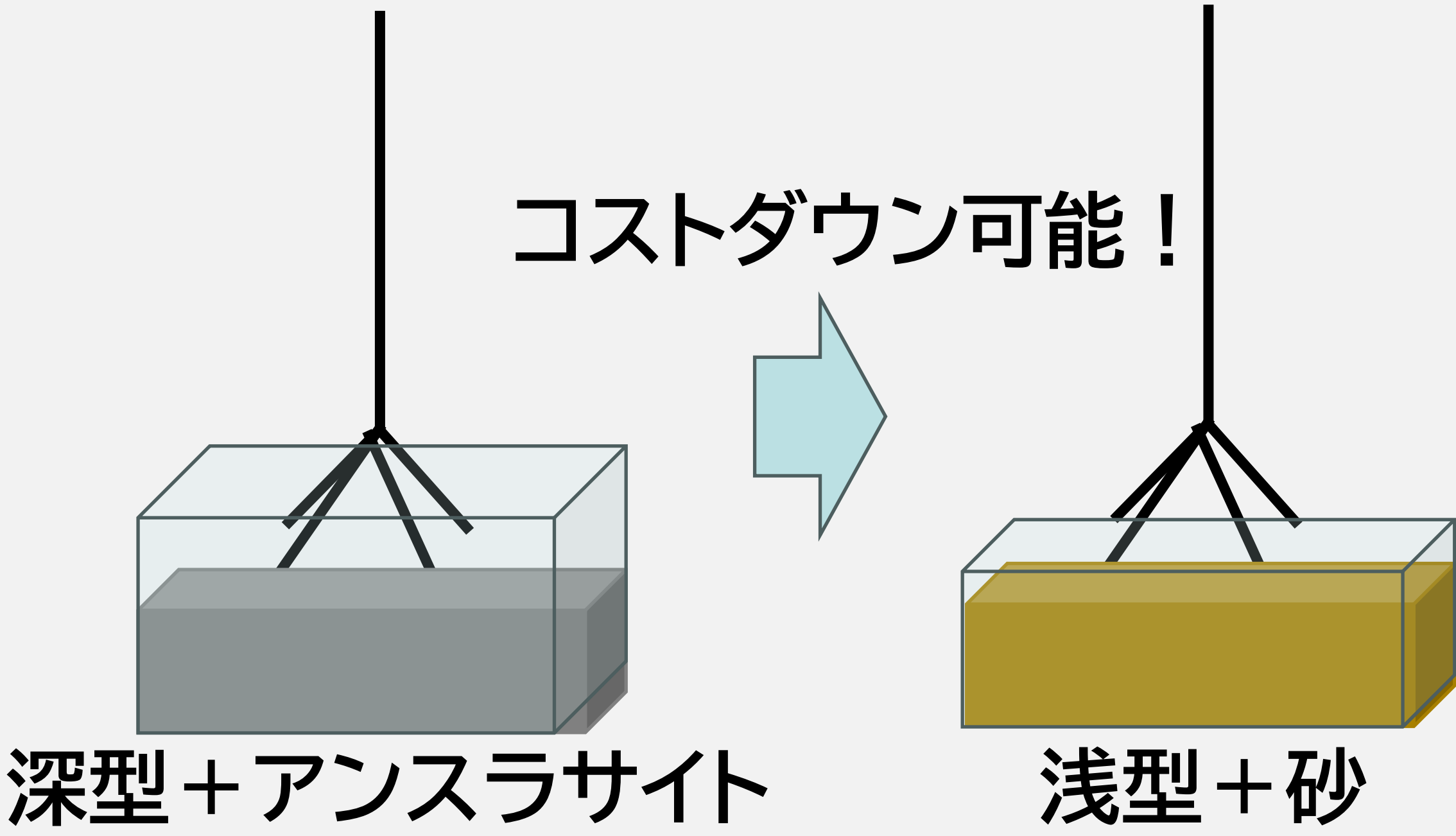
成果の内容

- 養殖密度と生産金額との関係をシミュレーションした結果、最新の市況では400個/コンテナ(飼育容器)で**トリガイ養殖同等の8,000円/コンテナの高収益**を見込めることを解明(養殖筏1基当たり最大160万円)

想定する市況 (円/kg)	特大	大	中	小
最新市況	2,800	2,800	2,500	2,300
中・小を規格外とした場合 (ブランド想定)	2,800	2,800	0	0
築地市場の一般的単価(参考) (高木ら, 2017)	1,200	1,000	800	0
府内既往研究の単価(参考) (谷本ら, 2014)	2,000	2,000	1,400	0



- 基質・容器の深さに関わらず商品サイズの殻長3cm超に成長、80%以上生残
- トリガイ養殖と同じ資材で飼育できるが、より低コストな資材も選択可能



期待される波及効果

アサリは高水温に強いことから、近年の高水温による**トリガイ養殖の生産量低下**
リスクを補う代替種として期待されます。